

テキストは語る！

～テキスト研究の醍醐味～

2025年11月15日(土)

13:00▶17:00

京都産業大学図書館ナレッジコモンズ

現代社会において、テキストは単なる言語表現の手段を超え、
文化的記憶や社会的アイデンティティの担い手として多様な機能を果たしている。
シンポジウムでは、日本、韓国、パキスタン、ロシア、アフリカ諸国における
テキスト研究の最新成果を共有し、地域ごとの文脈に根ざした
テキストの生成・受容・変容のあり方を探る。



森博達 (研究センター員)

書はことばぞ
— 仏教漢文から見た記紀の交渉 —



梶茂樹 (研究センター員)

初めて文字化されるテキスト
— ウガンダ・キガ族の民話研究 —



盛田帝子 (外国語学部教授)

ノースカロライナ大学アックランド美術館所蔵
『夢香洲観花絵巻』をめぐる
— 夢と現実、絵とテキストの交錯 —



須永恵美子 (文化学部准教授)

二つの文字が出会う場所
— パキスタン映画ポスターにおけるテキストの選択 —



杉山豊 (研究センター員)

版本から読み解く中世朝鮮のテキスト読解と生成
— 『蒙山和尚法語略録』諺解の訂正を手がかりに —



北上光志 (研究センター員)

18世紀後半から20世紀後半までのロシア文学作品
における複合動詞述語の観点からのテキスト分析



◀▼登録フォーム

<https://forms.office.com/r/9bJcybP9ND>

問い合わせ先:kotoba-shimposium@cc.kyoto-su.ac.jp

参加
無料

事前
登録



プログラム

前半の部

13:00~13:05 開会の挨拶

13:05~13:30 **森 博達**
(研究センター員)

書はことばぞ
— 仏教漢文から見た記紀の交渉 —

13:30~13:55 **盛田 帝子**
(外国語学部教授)

ノースカロライナ大学アックランド美術館所蔵
『夢香洲観花絵巻』をめぐって
— 夢と現実、絵とテキストの交錯 —

13:55~14:20 **杉山 豊**
(研究センター員)

版本から読み解く中世朝鮮のテキスト読解と生成
— 『蒙山和尚法語略録』諺解の訂正を手がかりに —

14:20~14:50 前半の部の討論

14:50~15:00 休憩

後半の部

15:00~15:25 **梶 茂樹**
(研究センター員)

初めて文字化されるテキスト
— ウガンダ・キガ族の民話研究 —

15:25~15:50 **須永 恵美子**
(文化学部准教授)

二つの文字が会う場所
— パキスタン映画ポスターにおけるテキストの選択 —

15:50~16:15 **北上 光志**
(研究センター員)

18世紀後半から20世紀後半までのロシア文学作品
における複合動詞述語の観点からのテキスト分析

16:15~16:45 後半の部の討論

16:45~16:50 閉会

オンラインの参加の仕方

Microsoft Teamsでご参加いただきます（無料、アカウント作成不要）。
ご登録頂いた方には主催者よりURLをお送りします。

アクセス

JR京都駅(地下鉄京都駅)
阪急烏丸駅(地下鉄四条駅) から

地下鉄で「国際会館駅」下車
→京都バス(40系統)で京都産業大学前下車

地下鉄で「北大路駅」下車
→市バス(北3号系統)または京都バスで京都産大前下車

京阪出町柳駅から

京阪電鉄鴨東線で出町柳駅(乗り継ぎ)
→叡山電車(鞍馬線)で二軒茶屋駅下車
→京都バス(広河原32・静原・城山34・市原35・
京都産業大学 快速35・36)で京都産業大学前下車

※土曜日の上賀茂・二軒茶屋のシャトルバス運行は午前中までです。

